

# しぶ さわ けい ぞう 澁沢敬三って どんな人？

りっし ちゅうじょ こうけいしゃ  
立志と忠恕の後継者



2体の銅像が  
令和7年11月11日に  
深谷市へ

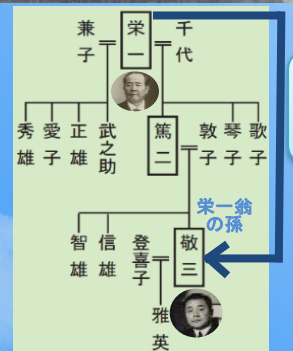
①

NEW



旧澁沢邸「中の家」  
澁沢敬三像

もっとかわいいことは  
下のQRコードから  
しらべてみよう！



## 01 栄一の後継者として

澁沢栄一の長男「篤二」の子として東京に生まれました。(栄一の孫です。)  
17歳の時に、栄一の後継者に指名されました。栄一は忙しくても敬三をお昼ごはんに誘い、一緒に天ぷらやステーキを食べていたそうです。  
栄一の仕事を間近で見、仕事ぶりを観察したり、時には栄一を助けたりして実業家としての経験を積んでいきました。

## 02 文化人として

中学生のころから「金魚の音に関する知覚の一観察」など自然科学系の論文を書いて、同級生に見せていたそうです。  
大人になっても学問への思いは強く、物置小屋の屋根裏部屋に博物館(アチックミュージアム)をつくり、生物の標本や郷土のおもちゃなどの展示をしていました。  
全68巻の「澁沢栄一伝記資料」を完成させました。

## 03 経済人として

日本銀行の総裁となってお金の流れのシステムを整えました。また国際電信電話株式会社をはじめ様々な会社の取締役を務めました。  
1945年に大蔵大臣(今の財務大臣)となり、財産税の導入や財閥解体など日本経済のために重要かつ大胆な施策を行いました。  
※財産税・・・戦後の借金を返すため富裕層の資産を国が徴収すること  
※財閥解体・・・経済の民主化のため、大きな力をもっていた企業グループを解散させたこと

## 04 エピソード

自分で決めた財産税に率先して取り組むために、決まりに基づいて申告して、自宅を物納しました。その時、家の経済状況も厳しくなりましたが、「ニコニコしていればいい。いざとなったら元の深谷の百姓に戻ればいい」と言って平気な顔をしていたそうです。  
獅子舞が好きで、栄一と一緒に深谷に何度も訪れています。栄一が亡くなった後も、一人で訪れ、栄一が行っていた里帰りを引き継いでいました。



栄一翁と  
敬三さんの顔は  
にているかな？

中の家にて



敬三さんも  
深谷の「中の家」  
に来ているよ。

栄一 敬三



## Q.新しい銅像はどこから来たの？

三沢奥入瀬観光開発という会社から寄附していただいた「栄一像」と「敬三像」は、青森県からトラックに運ばれてきました。

## Q.なんで、青森に栄一像があったの？

澁沢家の書生 だった杉本行雄さんが、青森で温泉の会社を設立し成功しました。そこに庭園をつくり、自分の師である二人の銅像を建てました。  
※書生：澁沢家のお手伝いをしながら勉強をする人



杉本行雄さん



①～⑤の銅像はここにあるよ！  
発行：深谷市

# 深谷市へようこそ!

## 渋沢敬三さんと銅像のおはなし

### 渋沢敬三さんって、どんな人?

屋根裏は「ぼくの博物館」!



家の屋根裏部屋に、生き物の標本などを集めて仲間と一緒に研究し、成人してからも学問への情熱を持ち続けました。

戦後の日本を立て直した大蔵大臣



戦争で大変になった日本の経済を立て直すため、大蔵大臣として難しい仕事に挑戦しました。

### みんなのために、正直に



自分の会社を解散するときも、みんなのために文句を言わず、決められたルールをきちんと守る姿勢を示しました。

## 銅像はどこから来たの? 長い旅のおはなし

もともとは青森県にありました。敬三さんをとても尊敬していた杉本行雄さんという人が、青森県の温泉施設に建てたものでした。



いろいろな人の想いをつないで...



会社の事情で一度バラバラになりそうになりましたが、たくさんの人々の協力で守られました。



そして、ゆかりの地・深谷市へ!

2025年、渋沢家と深いつながりのある深谷市に、おじいさんの栄一さんの銅像と一緒にやってきました。

### 銅像の大きさをくらべ

渋沢敬三さんの像

高さ: 4.9メートル (人の3倍くらい)

重さ: 23.4トン (象の5倍くらい)



旧渋沢邸「中の家」



深谷市役所



高さ: 7.3メートル (キリンより高い!)

重さ: 29.1トン

渋沢栄一さんの像